事務事業実績測定調書

事務事業名称	国民健康保険保健事業								
測定年度	2021(R3)年度		部	健康福祉部			課	健康づくり・介護予防課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標	6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち							
	実行計画名	6-1.保健医療制度の充実							

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	不明	年度	～		年度まで
根拠法令等	国民健康保険法				
関係補助金名称		サンセット		~	
関係附属機関名称	国民健康保険運営協議会				
事業対象	メインターゲット	75歳未満の市民で他の医療保険の被保険者・被扶養者でない人(生活保護受給者を除く)			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	加入者に健康増進の意識啓発を行う必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	加入者に対する健康増進事業を行うことで、健康の保持増進が実現できている。				
事業概要	健康増進の意識啓発のために、啓発パンフレットやリーフレットの配布、骨密度測定や健康相談などを行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)
ロジックモデル	国民健康保険加入者が、健康増進の意識を持つ。	健康増進の意識啓発事業に、多くの加入者が参加する。	健康増進の意識啓発事業を実施する。

指標設定	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)
指標説明	健康講座参加者の理解度 【算出式:アンケートにより「理解できた」と回答した人／アンケート回収数×100】	健康講座参加者数	健康講座開催回数
	単位 %	単位 人	単位 回
指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標

指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標(見込み)	100	100	100	100	160	160	160	160	2	2	2	2
実績	0	96.90			0	71			0	1		
達成度	97%				44%				50%			
分析	想定通りであった				健康講座開催回数を減じたため参加者数は減少した				新型コロナウイルス感染拡大の状況を考慮しつつ、1回開催とした			

3. 人員体制

（人）

	R3
正職員（再任用）	0.70
任期付職員	0.10
会計年度任用職員	0.77
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。

（千円）

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	6,844	8,798	5,935		
		会計年度任用職員（時間外、交通費等含む）	2,357	1,780	1,459		
		特別職非常勤	ー	0	0		
		附属機関委員	ー	0	0		
		人件費計	9,201	10,578	7,394		
	物件費計		2,994	4,510	3,026	3,958	76%
	歳出計		12,195	15,088	10,420		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		2,994	4,691	174	184	
	受益者負担（使用料・手数料）		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		2,994	4,691	174	184	
一般財源			9,201	▲ 181	2,852	3,774	

5. 総括的分析

総括的分析	健康講座は新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じ、1回実施できた。また、健康講座の代替え策として集団検診の場で骨粗しょう症に関する啓発を行う等、健康づくりの推進を図った。今後も感染対策を講じたうえでの健康増進の取り組みを実施していく。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	新型コロナウイルス感染防止に配慮しながら、健康増進のための取り組みを実施する

事務事業実績測定調書

事務事業名称	健康づくり推進事業								
測定年度	2021(R3)年度		部	健康福祉部			課	健康づくり・介護予防課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標	6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち							
	実行計画名	6-2.健康づくりの推進							

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1984(S59)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	健康増進法				
関係補助金名称		サンセット		~	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	すべての市民			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	各々が健康づくりに関しての種々の課題を持つが、第2次枚方市健康増進計画中間評価においては、「適正体重を維持する」ことが優先課題となっている			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿課題が解決した状態)	市民一人ひとりが自己の健康について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる				
事業概要	各種事業の実施 ①健康づくりボランティア講座・フォローアップ研修(健康づくりボランティアの養成およびボランティアのスキルアップ) ②地区組織活動(健康ボランティアが中心となった健康づくり活動) ③健康増進計画推進事業(健康づくりを支援するためのイベントや取り組み・食育推進イベント)				

2. ロジックモデル及び指標設定

	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)
ロジックモデル	市民一人ひとりが自己の健康について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる。	健康づくりボランティアとして活動するための知識を学ぶ機会となる。	健康づくりボランティア講座・フォローアップ研修を実施する。
指標設定 指標説明	事業アンケートで自己の健康について関心を持っている市民の割合 【算出式:(準備期＋実行期＋維持期)と回答した人数/イベントの参加者×100】	健康づくりボランティア数	健康づくりボランティア講座・フォローアップ研修の開催回数
単位	%	人	回
指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標

指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標(見込み)	78	78	78	78	304	311	318	325	14	9	9	9
実績	96	93.22			266	235			9	7		
達成度	120%				76%				78%			
分析	健康について関心が持てるよう市民に啓発することができた。				新規養成者数より、家庭の事情等での退会者数が多い状況である。				講座修了前に、健康づくりボランティアが行っている活動が体験ができる機会を設け、講義の回数を減らした。			

	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)
ロジックモデル②	市民一人ひとりが自己の健康について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる。	市民が参加する。	地区組織活動を実施する。
指標設定② 指標説明	事業アンケートで自己の健康について関心を持っている市民の割合 【算出式:(準備期＋実行期＋維持期)と回答した人数/イベントの参加者×100】	地区組織活動への参加者数	地区組織活動の実施回数
単位	%	人	回
指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標

指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標(見込み)	78	78	78	78	3,753	3,826	3,899	3,972	130	130	130	130
実績	96	93.22			601	1,072			41	57		
達成度	120%				28%				44%			
分析	健康について関心が持てるよう市民に啓発することができた。				新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から人数を制限して開催した。				新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、昨年度と同様に中止をした地区もあった。			

ロジックモデル③	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
	市民一人ひとりが自己の健康について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる。	市民が参加する。	健康増進計画推進事業を実施する。

指標設定③	アウトカム（活動効果）				アウトプット（活動結果）				インプット（活動）			
指標説明	事業アンケートで自己の健康について関心を持っている市民の割合 【算出式:(準備期＋実行期＋維持期)と回答した人数/イベントの参加者×100】				ウォーキングイベント参加者数				ひらかたカラダづくりトライアル　マップ配付数			
			単位	%			単位	人			単位	枚
指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標（見込）	78	78	78	78	500	500	500	500	6,000	6,000	6,000	6,000
実績	96	93.22			0	0			6,000	6,000		
達成度	120%				0%				100%			
分析	健康について関心が持てるよう市民に啓発することができた。				新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した。				想定通りであった。			

3. 人員体制

（人）

	R3
正職員（再任用）	2.14
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.17
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。

（千円）

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	26,697	16,349	16,814		
		会計年度任用職員（時間外、交通費等含む）	53	785	71		
		特別職非常勤	―	0	0		
		附属機関委員	―	0	0		
		人件費計	26,750	17,134	16,885		
	物件費計		2,061	1,725	1,664	2,748	61%
	歳出計		28,811	18,859	18,549		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		358	43	53	134	
	受益者負担（使用料・手数料）		31	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	52	
	歳入計		389	43	53	186	
一般財源			28,422	1,682	1,611	2,562	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルスの感染対策を講じながら、地域でも健康づくりボランティアによる講座等を昨年度に比べて多く開催することができた。 ウォーキングコースを紹介しているマップを広く配布することで、コロナ禍においても健康づくりを啓発することができた。 数百人が集まるウォーキングイベントは開催することができなかったが、一人でも健康づくりに気軽に取り組めるよう、ウォーキングマップを広く市関係施設に設置することで、多くの市民に活用してもらえた。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、健康づくりボランティアとともに、健康づくりを推進していくとともに、ウォーキングマップについてはより身近な市内を歩くコースを増やしていく。また、来年度の健康増進計画最終評価及び次期計画策定に向け、今年度から意見聴取等取り組みを進める。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	成人保健事業(がん対策事業除く)								
測定年度	2021(R3)年度		部	健康福祉部			課	健康づくり・介護予防課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標	6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち							
	実行計画名	6-1.保健医療制度の充実							

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1983(S58)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	健康増進法				
関係補助金名称		サンセット		~	
関係附属機関名称	健康増進計画審議会				
事業対象	メインターゲット	健康増進法の対象となる市民			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	各世代や個人が抱える健康課題は多種多様であり、求める情報も様々である中、適切な情報の浸透が十分でない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	市民一人ひとりが自己の健康(生活習慣病(がんを除く))について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる				
事業概要	健康増進法第17条1項、第19条2にによる事業 健康手帳交付事業・健康教育事業・健康相談事業・訪問指導事業・住民健康診査事業				

2. ロジックモデル及び指標設定

	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)
ロジックモデル	市民一人ひとりが自己の健康(生活習慣病)について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる。	市民が健康手帳を日々の健康づくりに活用する。	健康手帳交付事業を実施する。

指標設定

	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)
指標説明	健康教育のアンケートで自己の健康について関心を持っている市民の割合 【算出式:(準備期＋実行期＋維持期)と回答した人数/健康教育の参加者×100】	健康手帳交付者数	健康手帳作成数
単位	%	人	部
指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標

指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標(見込み)	78	78	78	78	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000
実績	96	94.08			2,900	7,310			13,000	0		
達成度	121%				56%				0%			

分析	健康について関心が持てるよう市民に啓発することができた。	目標には到達しなかったが、健康手帳の配付場所を増やしたため、増加した	昨年度までの在庫を有効活用し、新規作成はしなかった。

	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)
ロジックモデル②	市民一人ひとりが自己の健康(生活習慣病)について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる。	市民が参加する。	健康教育事業を実施する。

指標設定②

	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)
指標説明	健康教育のアンケートで自己の健康について関心を持っている市民の割合 【算出式:(準備期＋実行期＋維持期)と回答した人数/健康教育の参加者×100】	健康教育参加者数	健康教育事業実施回数
単位	%	人	回
指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標

指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標(見込み)	78	78	78	78	3,527	3,596	3,665	3,734	130	130	130	130
実績	96	94.08			736	33,554			43	108		
達成度	121%				933%				83%			

分析	健康について関心が持てるよう市民に啓発することができた。	コロナ禍においても健康教育ができる方法として、オンライン配信にも取り組んだため、参加者数が増加した。	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、昨年度に引き続き調理実習等の講座は実施しなかったが、昨年度より回数は増加した。

ロジックモデル③	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
	市民一人ひとりが自己の健康（生活習慣病）について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる。	対象者が健康について相談を受ける。	健康相談事業を実施する。

指標設定③	アウトカム（活動効果）				アウトプット（活動結果）				インプット（活動）			
指標説明	健康教育のアンケートで自己の健康について関心を持っている市民の割合 【算出式:(準備期＋実行期＋維持期)と回答した人数/健康教育の参加者×100】				健康相談者数				定例・定例外の健康相談実施回数			
			単位	%			単位	人			単位	回
指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標（見込	78	78	78	78	4,000	4,000	4,000	4,000	136	136	136	136
実績	96	94.08			420	571			288	437		
達成度	121%				14%				321%			
分析	健康について関心が持てるよう市民に啓発することができた。				新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、集団での相談より個別の相談を充実させた。				120日チャレンジ（栄養、運動、歯科口腔の取組）にチャレンジした市民を対象に、より効果的に健康づくりができるよう個別相談を実施したため、回数が増加した。			

ロジックモデル④	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
	市民一人ひとりが自己の健康（生活習慣病）について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる。	対象者が訪問指導を受ける。	訪問指導事業を実施する。

指標設定④	アウトカム（活動効果）				アウトプット（活動結果）				インプット（活動）			
指標説明	健康教育のアンケートで自己の健康について関心を持っている市民の割合 【算出式:(準備期＋実行期＋維持期)と回答した人数/健康教育の参加者×100】				訪問指導延べ人数				訪問指導実施回数			
			単位	%			単位	人			単位	回
指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標（見込	78	78	78	78	67	67	67	67	67	67	67	67
実績	96	94.08			85	82			85	82		
達成度	121%				122%				122%			
分析	健康について関心が持てるよう市民に啓発することができた。				コロナ禍においても、訪問指導の目標人数は達成した。				コロナ禍においても、訪問指導の目標回数は達成した。			

ロジックモデル⑤	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
	市民一人ひとりが自己の健康（生活習慣病）について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる。	市民が住民健康診査を受ける。	住民健康診査事業を実施する。

指標設定⑤	アウトカム（活動効果）				アウトプット（活動結果）				インプット（活動）			
指標説明	健康教育のアンケートで自己の健康について関心を持っている市民の割合 【算出式:(準備期＋実行期＋維持期)と回答した人数/健康教育の参加者×100】				住民健康診査40歳以上の受診率 【算出式:受診者数／対象者数×100】				実施医療機関数			
			単位	%			単位	%			単位	箇所
指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標（見込み）	78	78	78	78	11.80	12.30	12.80	13.30	125	125	125	125
実績	96	94.08			8	9.60			127	125		
達成度	121%				78%				100%			
分析	健康について関心が持てるよう市民に啓発することができた。				福祉担当課との連携により、受診率は前年度より増加した。				想定通りであった。			

3. 人員体制

（人）

	R3
正職員（再任用）	1.50
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.19
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。

（千円）

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	19,080	14,355	11,786		
		会計年度任用職員（時間外、交通費等含む）	819	747	709		
		特別職非常勤	―	0	0		
		附属機関委員	―	0	0		
		人件費計	19,899	15,102	12,495		
	物件費計		11,876	8,749	10,099	13,260	76%
	歳出計		31,775	23,851	22,594		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		4,443	3,049	3,365	3,870	
	受益者負担（使用料・手数料）		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		4,443	3,049	3,365	3,870	
一般財源			27,332	5,700	6,734	9,390	

5. 総括的分析

総括的分析	対面での講座だけでなくインターネットを活用した講座を実施したことや健康手帳の配付場所を増やすことで、コロナ禍であっても多くの市民に健康づくりの啓発をすることができた。 対面だけでなく、電話やメール等で相談対応するなど、可能な限り市民のニーズに応じることで個別相談の充実を図ることができた。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、インターネットを活用した講座等を実施し広く健康づくりの啓発を図っていく。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	禁煙支援事業								
測定年度	2021(R3)年度		部	健康福祉部			課	健康づくり・介護予防課	
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標	6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち							
	実行計画名	6-2.健康づくりの推進							

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2020(R2)年度	年度	～	2025(R7)年度	年度まで
根拠法令等	健康増進法				
関係補助金名称	禁煙支援事業補助金	サンセット	2020(R2)年度	~	2024(R6)年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	禁煙を希望する市民			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	禁煙を持続して行うことが難しい。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿（課題が解決した状態）	禁煙する人の増加や望まない受動喫煙を生じさせることのない環境づくりにより、市民の健康意識の向上や生活習慣病に罹患する人が減少する。				
事業概要	喫煙及び受動喫煙による健康被害を減らし、禁煙を促進するため、健康保険による禁煙外来治療費の補助を行う。禁煙を希望する人に対して、禁煙に向けたサポートを行う。禁煙希望者には事前に禁煙宣言を記入してもらい、禁煙達成後に費用の補助を行う。禁煙達成後、一定期間継続して禁煙が確認できた場合、さらにひらポを付与する。禁煙支援と合わせて、望まない受動喫煙を生じさせることのない環境づくりを推進する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
ロジックモデル	市民の喫煙率の低下	禁煙しようとする市民が増える	禁煙支援事業を実施する

指標設定	アウトカム（活動効果）				アウトプット（活動結果）				インプット（活動）			
指標説明	市民の喫煙率				禁煙支援事業受付者のうち禁煙達成者の割合				禁煙支援事業受付数			
			単位	%			単位	%			単位	人
指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標（見込み）	11.50	11	10.50	10	80	96	96	96	100	120	120	120
実績	11	10.30			65	101			165	82		
達成度	106%				105%				68%			
分析	目標値を達成していた(R4.6月末集計時点)				前年度の禁煙支援事業受付数を含むため受付数を超える値となっている				禁煙補助薬の出荷停止により治療者数が減少したため、想定より少なかった			

3. 人員体制

（人）

	R3
正職員（再任用）	0.78
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。

（千円）

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	－	8,773	6,128		
		会計年度任用職員（時間外、交通費等含む）	－	0	0		
		特別職非常勤	－	0	0		
		附属機関委員	－	0	0		
		人件費計	－	8,773	6,128		
	物件費計		－	1,767	1,367	1,844	75%
	歳出計		－	10,540	7,495		
歳入	国庫支出金		－	0	0	0	
	府支出金		－	0	0	0	
	受益者負担（使用料・手数料）		－	0	0	0	
	市債		－	0	0	0	
	その他		－	1,767	0	0	
	歳入計		－	1,767	0	0	
一般財源			－	0	1,367	1,844	

5. 総括的分析

総括的分析	R3.6月から禁煙補助薬チャンピックス（バレニクリン）が出荷停止となり、治療者数及び開始届出者数が減少した。禁煙の推進については、禁煙補助薬チャンピックス（バレニクリン）以外の方法でも禁煙サポートできるよう、たばこに関する健康被害等の情報を掲載する「スワンの部屋」をホームページに開設し、啓発に努めた。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、たばこに関する健康被害等の情報について周知啓発をすすめるとともに、禁煙希望者への禁煙サポートを行う。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	食育推進事業								
測定年度	2021(R3)年度		部	健康福祉部			課	健康づくり・介護予防課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標	6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち							
	実行計画名	6-2.健康づくりの推進							

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2006(H18)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	食育基本法、枚方市食育推進計画				
関係補助金名称		サンセット		~	
関係附属機関名称	枚方市食育推進計画審議会				
事業対象	メインターゲット	乳幼児から高齢者まで全ての市民			
	サブターゲット	生産者・教育機関・食品関係事業者等、食に関わる事業者			
	ターゲットが抱える課題	食に関する正しい知識の不足、食育を実践する人材の育成			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿（課題が解決した状態）	子どもから高齢者まで、一人ひとりが「食」に関する正しい知識と「食」を選択する判断力を身につけ、生涯にわたり健康寿命の延伸につながる健全な食生活を実践するとともに、家庭・教育機関・地域・生産者等が相互に連携し、ネットワークを築きながら市民活動としての食育の推進に取り組む。				
事業概要	・枚方市食育推進ネットワーク会議を開催し、関係機関・団体の情報の共有と連携を図り、食育を推進する。 ・枚方市食育推進ネットワーク会議及び関係機関・団体と連携し、食育の普及啓発を目的としたイベントを開催する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
ロジックモデル	食育に関する正しい知識が浸透し、健全な食生活が実践される。	各家庭や教育機関、地域等で幅広く食育に関する取り組みが実践される。	枚方市食育推進ネットワーク会議と連携し、食育推進に関する取り組みを実施する。

指標設定

	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
指標説明	朝食を欠食している小学生の割合【全国学力・学習状況調査による】	食に関する知識を啓発するための冊子「ひらかた食育Q&A」の実施数	枚方市食育推進ネットワーク会議の開催回数
単位	%	人	回
指標種類	減少することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標

指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標（見込み）	0	0	0	0	12,000	12,000	12,000	12,000	3	3	3	3
実績	－	6.60			10,836	10,650			2	2		
達成度	93%				89%				67%			

	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
分析	全国に比べ1.5ポイント欠食の割合が多い。	コロナ禍により事業を縮小しているため、大人用の「ひらかた食育Q&A」の活用数が少なかった。	効率化を図るため、食育推進ネットワーク会議として2回開催するとともに、食育カーニバル実行委員会を3回開催し、連携を図りながら推進した。

	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
ロジックモデル②	食育に関する正しい知識が浸透し、健全な食生活が実践される。	多くの市民が食育に関心を持つ。	食育の普及啓発を目的としたイベントを開催する。

指標設定②

	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
指標説明	朝食を欠食している小学生の割合【全国学力・学習状況調査による】	ひらかた食育カーニバル参加者アンケートで「食育に関心がある」と回答した人の割合【算出式：食育に関心があると回答した人／アンケート回答者×100】	ひらかた食育カーニバル参加者数（延べ人数）
単位	%	%	人
指標種類	減少することが良いとされる指標		増加することが良いとされる指標

指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標（見込み）	0	0	0	0	80	80	80	80	6,000	6,000	6,000	6,000
実績	－	6.60			0	96			0	32,175		
達成度	93%				120%				536%			

	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
分析	全国に比べ1.5ポイント欠食の割合が多い。	食育に関心を持つ人の割合が増加した。	オンライン開催とすることで、多くの方に参加していただくことができた。

3. 人員体制

（人）

	R3
正職員（再任用）	1.92
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.25
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。

（千円）

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	10,182	15,153	15,085		
		会計年度任用職員（時間外、交通費等含む）	193	0	529		
		特別職非常勤	―	0	0		
		附属機関委員	―	171	0		
		人件費計	10,375	15,324	15,614		
	物件費計		1,532	3,254	1,736	1,887	92%
	歳出計		11,907	18,578	17,350		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担（使用料・手数料）		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	0	
一般財源			11,907	3,254	1,736	1,887	

5. 総括的分析

総括的分析	枚方市食育推進計画中間評価に基づき、インターネットやSNSを活用し情報発信を行った。新型コロナウイルス感染症の影響で、調理や試食を伴う食育活動や多くの人が集まる講座が中止となったが、情報発信の方法を工夫するなど、今後も多くの市民に食育へ関心をもってもらえるよう取り組みを継続する。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	情報発信の工夫を行うなど、食育推進の取組を進めるとともに、来年度の食育推進計画最終評価及び次期計画策定に向け、今年度から意見聴取等取り組みを進める。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	特定健康診査・特定保健指導事業									
測定年度	2021(R3)年度		部	健康福祉部			課	健康づくり・介護予防課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標	6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち								
	実行計画名	6-1.保健医療制度の充実								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2008(H20)年度、2009(H21)年度(人間ドック費用助成)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律、枚方市国民健康保険被保険者人間ドック受診費用助成要綱				
関係補助金名称		サンセット		~	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	40歳以上75歳未満の国民健康保険加入者			
	サブターゲット	30歳以上40歳未満の国民健康保険被保険者			
	ターゲットが抱える課題	糖尿病等の生活習慣病に起因する有病者が増加している			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	健診受診により糖尿病等の生活習慣病の発症や重症化を予防する				
事業概要	・メタボリックシンドロームに着目した健康診査の実施および健診結果に基づく保健指導を実施している。 ・特定健康診査の対象者(40歳～74歳)について、特定健康診査の受診に代えて、人間ドックを受診した場合に費用の一部を助成する。※助成額　13,000円(特定健康診査項目の相当額) ・特定健康診査の集団健診(日曜日健診)での対象を30歳以上40歳未満にも拡充して実施し、生活習慣病のリスクがある場合は保健指導を実施。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)
	健診受診により糖尿病等の生活習慣病の早期発見・重症化予防ができる。	特定健康診査の受診率が向上する。	特定健康診査の受診を勧奨する。

指標設定	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)
指標説明	生活習慣病の患者数	特定健康診査受診率 【算出式:受診者数／対象者数×100】	特定健康診査受診対象者数
単位	人	%	人
指標種類	減少することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標

指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標(見込み)	35,000	35,000	35,000	35,000	40	45	45	50	58,000	58,000	58,000	58,000
実績	33,262	33,058			30.10	30.80			56,612	54,826		
達成度	106%				68%				95%			
分析	想定通りであった				(6月末暫定値)新型コロナウイルス感染症による受診控えの影響が続いているが、前年度より増加。				被保険者数の減少に伴い特定健康診査受診対象者も減少した。対象者には全て受診勧奨を実施した。			

ロジックモデル②	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)
	健診受診により糖尿病等の生活習慣病の早期発見・重症化予防ができる。	申請者に費用の一部を助成する。	特定健康診査の受診に代えて人間ドックを受診した場合に、費用助成の申請を受け付ける。

指標設定②	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)
指標説明	生活習慣病の患者数	人間ドックの受診に対する助成件数	人間ドックの受診に対する申請件数
単位	人	件	件
指標種類	減少することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標

指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標(見込み)	35,000	35,000	35,000	35,000	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
実績	33,262	33,058			1,209	1,296			1,209	1,296		
達成度	106%				86%				86%			
分析	想定通りであった				新型コロナウイルス感染症による受診控えにより目標値に達していないが、前年度より増加している				新型コロナウイルス感染症による受診控えにより目標値に達していないが、前年度より増加している			

ロジックモデル③	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
	健診受診により糖尿病等の生活習慣病の早期発見・重症化予防ができる。	特定保健指導の利用率が向上する。	特定保健指導の利用を勧奨する。

指標設定③	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
指標説明	生活習慣病の患者数	特定保健指導利用率 【算出式:利用者数／対象者数×100】	特定保健指導利用対象者数
単位	人	%	人
指標種類	減少することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標

指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標（見込）	35,000	35,000	35,000	35,000	60	60	60	60	2,300	2,300	2,300	2,300
	実績	33,262	33,058			11.30	11.50			1,895	1,553		
達成度		106%				19%				68%			
分析		想定通りであった				目標値には達していないが前年度より増加している				被保険者数の減少に伴い特定健康診査受診対象者が減少し、健診受診者数が減少したことで特定保健指導利用対象者数も減少している			

3. 人員体制 （人）

	R3
正職員（再任用）	2.00
任期付職員	0.80
会計年度任用職員	2.10
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。

4. 決算額

（千円）

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	25,410	20,143	19,194		
		会計年度任用職員（時間外、交通費等含む）	2,189	4,083	3,979		
		特別職非常勤	―	0	0		
		附属機関委員	―	0	0		
		人件費計	27,599	24,226	23,173		
	物件費計		284,048	244,829	250,978	349,062	72%
	歳出計		311,647	269,055	274,151		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		275,449	89,276	87,419	86,726	
	受益者負担（使用料・手数料）		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		7,422	346	1,497	1,550	
	歳入計		282,871	89,622	88,916	88,276	
一般財源			28,776	155,207	162,062	260,786	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響はまだ続いているが、受診率や人間ドック受診に対する申請件数の増加等、改善の兆しが見えてきている。 特定健診受診率・特定保健指導利用率の向上に向けて、今後も個別勧奨を続けていく。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き健診の受診率向上や特定保健指導利用率の向上に向けて働きかけ、生活習慣病予防対策を推進する。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	がん対策事業								
測定年度	2021(R3)年度		部	健康福祉部			課	健康づくり・介護予防課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標	6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち							
	実行計画名	6-1.保健医療制度の充実							

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	不明	年度	～		年度まで
根拠法令等	健康増進法				
関係補助金名称	がん対策事業補助金	サンセット	2020(R2)年度	~	2022(R4)年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	各種がん検診の対象者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	がん検診の受診率が低いと、個々の健康管理に役立てられない。また、健康の保持増進を図るためには正しい情報を得ることが必要である。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿（課題が解決した状態）	市民一人ひとりが自己の健康(がん)について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる				
事業概要	各種がん検診等の実施および啓発 【健康増進法に基づく検診の実施】①大腸がん検診:40歳以上　300円　②乳がん検診:40歳以上の女性(2年に1回の受診)　1,000円　③子宮頸がん検診:20歳以上の女性　500円　④胃がん検診:胃部X線検査　35歳以上　2,000円、胃内視鏡検査　50歳以上(2年度に1回)　⑤肺がん検診:40歳以上　300円　⑥肝炎ウイルス検診:40歳以上で検診を受けたことがない人　1,000円 乳がん検診について、2年に1回の受診から2年度に1回の受診へ変更。 【がん検診推進事業】乳がん・子宮頸がん及び大腸がんの5歳刻みの対象者に対し無料クーポン券を送付。 無料クーポン券の対象者の他に、①～⑤のがん検診について、好発年齢層への受診勧奨を実施 (62・64・66・68歳 男女) ②③のがん検診について、女性のがんの好発年齢層への受診勧奨を実施 (52・54・56・58歳 女) 【市独自施策による検診の実施】①前立腺がん検診:50歳以上の男性　500円　② ピロリ菌検査:35歳以上60歳で検査を受けたことがない人　500円				

2. ロジックモデル及び指標設定

	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
ロジックモデル	市民一人ひとりが自己の健康(がん)について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる	市民が大腸がん検診を受ける	大腸がん検診を実施する

指標設定	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
指標説明	精密検査の受診率 【算出式:精密検査受診者数/要精密検査者数×100】	大腸がん検診受診率（職場等で実施されているものを含む）	大腸がん検診の実施医療機関
単位	%	%	箇所
指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標

指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標（見込み）	77	77	77	77	11.3（40）	11.3（40）	11.3（40）	11.3（40）	144	144	144	144
実績	68.90	73.10			8.60	8.90			148	144		
達成度	95%				79%				100%			
分析	(精検受診率は受診年度の翌年に算出可能となるため、値は前年度データ/指標は大腸がん検診精密検査受診率) 目標までは到達していないが、許容値(70%)をクリアできた				新型コロナウイルス感染症の影響もあり、目標までは到達していないが、前年度より向上した				想定通りであった			

ロジックモデル②	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
	市民一人ひとりが自己の健康（がん）について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる	市民が乳がん検診を受ける	乳がん検診を実施する

指標設定②	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
指標説明	精密検査の受診率 【算出式：精密検査受診者数/要精密検査者数×100】	乳がん検診受診率	乳がん検診実施医療機関数
	単位：%	単位：%	単位：箇所
指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標

指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標（見込み）	77	77	77	77	－	22.1（45）	22.1（45）	22.1（45）	－	8	8	8
実績	68.90	73.10			10	9.20			－	8		
達成度	95%				42%				100%			

分析			
	（精検受診率は受診年度の翌年に算出可能となるため、値は前年度データ/指標は大腸がん検診精密検査受診率） 目標までは到達していないが、許容値(70%)をクリアできた	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、目標値には遠く、前年度よりも受診率は低下	想定通りであった

ロジックモデル③	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
	市民一人ひとりが自己の健康（がん）について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる	市民が子宮頸がん検診を受ける	子宮頸がん検診を実施する

指標設定③	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
指標説明	精密検査の受診率 【算出式：精密検査受診者数/要精密検査者数×100】	子宮頸がん検診受診率	子宮頸がん検診実施医療機関数
	単位：%	単位：%	単位：箇所
指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標

指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標（見込	77	77	77	77	－	29.3（45）	29.3（45）	29.3（45）	－	16	16	16
実績	68.90	73.10			13.40	13.30			－	16		
達成度	95%				45%				100%			

分析			
	（精検受診率は受診年度の翌年に算出可能となるため、値は前年度データ/指標は大腸がん検診精密検査受診率） 目標までは到達していないが、許容値(70%)をクリアできた	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、目標値には遠く、受診率は横ばい傾向	想定通りであった

ロジックモデル④	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
	市民一人ひとりが自己の健康（がん）について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる	市民が胃がん検診を受ける	胃がん検診を実施する

指標設定④	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
指標説明	精密検査の受診率 【算出式：精密検査受診者数/要精密検査者数×100】	胃がん検診受診率	胃がん検診実施医療機関数
	単位：%	単位：%	単位：箇所
指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標

指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標（見込	77	77	77	77	－	6.6（40）	6.6（40）	6.6（40）	－	50	50	50
実績	68.90	73.10			3.50	2.60			－	45		
達成度	95%				39%				90%			

分析			
	（精検受診率は受診年度の翌年に算出可能となるため、値は前年度データ/指標は大腸がん検診精密検査受診率） 目標までは到達していないが、許容値(70%)をクリアできた	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、目標値には遠く、前年度よりも受診率は低下	想定通りであった

ロジックモデル⑤	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
	市民一人ひとりが自己の健康（がん）について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる	市民が肺がん検診を受ける	肺がん検診を実施する

指標設定⑤	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
指標説明	精密検査の受診率 【算出式：精密検査受診者数/要精密検査者数×100】	肺がん検診受診率	肺がん検診実施医療機関数
単位	%	%	箇所
指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標

指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標（見込み）	77	77	77	77	－	13.3（40）	13.3（40）	13.3（40）	－	130	130	130
実績	68.90	73.10			9.40	9.70			－	131		
達成度	95%				73%				101%			

分析			
	（精検受診率は受診年度の翌年に算出可能となるため、値は前年度データ/指標は大腸がん検診精密検査受診率） 目標までは到達していないが、許容値(70%)をクリアできた	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、目標までは到達していないが、前年度より向上した	想定通りであった

ロジックモデル⑥	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
	市民一人ひとりが自己の健康（がん）について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる	市民が肝炎ウイルス検診を受ける	肝炎ウイルス検診を実施する

指標設定⑥	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
指標説明	精密検査の受診率 【算出式：精密検査受診者数/要精密検査者数×100】	肝炎ウイルス検診受診者数	肝炎ウイルス検診実施医療機関数
単位	%	人	箇所
指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標

指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標（見込み）	77	77	77	77	－	7,000	7,000	3,500	－	150	150	150
実績	68.90	73.10			6,780	6,133			－	150		
達成度	95%				88%				100%			

分析			
	（精検受診率は受診年度の翌年に算出可能となるため、値は前年度データ/指標は大腸がん検診精密検査受診率） 目標までは到達していないが、許容値(70%)をクリアできた	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、目標までは到達していない。受診者数はやや減少	想定通りであった

ロジックモデル⑦	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
	市民一人ひとりが自己の健康（がん）について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる	市民が前立腺がん検診を受ける	前立腺がん検診を実施する

指標設定⑦	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
指標説明	精密検査の受診率 【算出式：精密検査受診者数/要精密検査者数×100】	前立腺がん検診受診率	前立腺がん検診実施医療機関数
単位	%	%	箇所
指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標

指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標（見込み）	77	77	77	77	－	10.50	10.50	10.50	－	153	153	153
実績	68.90	73.10			8.90	9.20			－	153		
達成度	95%				88%				100%			

分析			
	（精検受診率は受診年度の翌年に算出可能となるため、値は前年度データ/指標は大腸がん検診精密検査受診率） 目標までは到達していないが、許容値(70%)をクリアできた	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、目標までは到達していないが、前年度より向上した	想定通りであった

ロジックモデル⑧	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
	市民一人ひとりが自己の健康（がん）について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる	市民がピロリ菌検査を受ける	ピロリ菌検査を実施する

指標設定⑧	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
指標説明	精密検査の受診率 【算出式：精密検査受診者数/要精密検査者数×100】	ピロリ菌検査受診者数	ピロリ菌検査実施医療機関数
単位	%	人	箇所
指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標

指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
アウトカム	目標（見込）	77	77	77	77	－	1,800	1,800	1,800	－	130	130	130
アウトカム	実績	68.90	73.10			886	1,339			－	121		
達成度		95%				74%				93%			
分析		（精検受診率は受診年度の翌年に算出可能となるため、値は前年度データ/指標は大腸がん検診精密検査受診率） 目標までは到達していないが、許容値(70%)をクリアできた				新型コロナウイルス感染症の影響もあり、目標までは到達していないが、前年度より向上した				想定通りであった			

3. 人員体制

（人）

	R3
正職員（再任用）	2.67
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.50
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。

4. 決算額

（千円）

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	（参考）R3予算額	（参考）予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	23,891	15,153	20,978		
歳出	人件費	会計年度任用職員（時間外、交通費等含む）	492	155	642		
歳出	人件費	特別職非常勤	―	0	0		
歳出	人件費	附属機関委員	―	0	0		
歳出	人件費	人件費計	24,383	15,308	21,620		
歳出	物件費計		425,645	386,268	401,010	455,716	88%
歳出	歳出計		450,028	401,576	422,630		
歳入	国庫支出金		3,209	3,332	3,270	3,217	
歳入	府支出金		22,118	22,171	21,690	24,484	
歳入	受益者負担（使用料・手数料）		0	0	0	0	
歳入	市債		0	0	0	0	
歳入	その他		0	0	0	0	
歳入	歳入計		25,327	25,503	24,960	27,701	
一般財源			424,701	360,765	376,050	428,015	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、医師会の協力の元で感染症対策を講じて検診を止めることなく実施し、コロナ禍での検診の必要性のPRを行ったこともあり、受診率は令和2年度に比べ概ね向上している。引き続き、がん検診の受診率向上及び検診の精度管理に取り組む。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	がん検診の啓発資材の変更など、より効果的な方法を検討していく。また、一部対象者にリコールを実施し、受診率の向上を図る。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	歯科口腔保健推進事業								
測定年度	2021(R3)年度		部	健康福祉部			課	健康づくり・介護予防課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標	6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち							
	実行計画名	6-1.保健医療制度の充実							

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	不明	年度	～		年度まで
根拠法令等	歯科口腔保健の推進に関する法律、健康増進法				
関係補助金名称		サンセット		~	
関係附属機関名称					

事業対象	メインターゲット	歯と口腔の健康づくりに取り組むべき全市民
	サブターゲット	
	ターゲットが抱える課題	かかりつけ歯科医を持ち専門職による定期的な介入の必要性がある。また、日常生活でのセルフケアなど、歯と口腔の健康づくりに取り組む必要がある。
	ターゲットが抱える課題	
めざす姿、あるべき姿（課題が解決した状態）	市民一人ひとりが自己の健康（歯科口腔）について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる	
事業概要	平成28年度より口腔保健支援センターを設置し、歯科口腔保健施策を総合的に推進する。 ○歯周病検診事業（委託） 対象：満35・40・45・50・55・60・65・70歳 内容：問診・口腔内診査・口腔衛生指導等 料金：500円（市民税非課税世帯・生活保護受給者は検診料免除） ○後期高齢者歯科健康診査事業（委託） 対象：75歳以上の生活保護受給者 内容：問診、口腔内診査、咀嚼能力評価、舌機能評価、嚥下機能評価等 料金：無料 ○成人歯科健康診査事業（直営） 対象：1歳6か月児健康診査と2歳6か月児歯科健康診査受診の保護者 内容 問診・口腔内診査・口腔衛生指導等 料金：無料 ○在宅訪問歯科健康診査事業（直営） 対象：18歳以上で歯科健診を受診することが困難な方 内容：問診・口腔内診査・口腔衛生指導等 料金：無料 ○障害者（児）施設歯科健康診査（委託） 対象：障害者支援施設、障害者入所施設・通所施設に入所・通所する障害者（児） 内容：問診・口腔内診査・口腔衛生指導 料金：無料 ○障害児歯科健康診査 対象：乳幼児健康診査に来所が困難な重症心身障害児・肢体不自由児・医療的ケア児 内容：1歳6か月、2歳6か月、3歳6か月の時期に、対象者の居宅又は保健センターにおいて、歯科診察・歯科保健指導・フッ素塗布・RDテスト（むし歯菌検査）を実施する。 料金：無料 新型コロナウイルス感染症対策のため、集団健診については回数を増加し、1回あたりの対象者を減少させ密を避けて実施する。	

2. ロジックモデル及び指標設定

	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
ロジックモデル	市民一人ひとりが自己の健康（歯科口腔）について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる。	市民が歯周病検診を受ける。	歯周病検診事業を実施する。

指標設定	アウトカム（活動効果）				アウトプット（活動結果）				インプット（活動）			
指標説明	歯周病検診の要治療者の受診率 【算出式：要治療者のうち受診した人数/要治療者数×100】				歯周病検診受診率				歯周病検診実施機関数			
			単位	%			単位	%			単位	箇所
指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標（見込み）	92	92	92	92	4	5	5	6	171	171	171	171
実績	71.30	87.20			4.05	4.90			173	175		
達成度	95%				98%				102%			
分析	目標まで達していないが、検診後の受診率は向上した。引き続き、未受診者に対して個別勧奨を実施する。				前年度から増加し、概ね想定通りであった。				想定どおりであった。			

ロジックモデル②	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
	市民一人ひとりが自己の健康（歯科口腔）について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる。	市民が枚方市後期高齢者歯科健康診査を受ける。	枚方市後期高齢者歯科健康診査事業を実施する。

指標設定②	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
指標説明	歯周病検診の要治療者の受診率 【算出式：要治療者のうち受診した人数/要治療者数×100】	枚方市後期高齢者歯科健康診査受診者数	枚方市後期高齢者歯科健康診査実施機関数
単位	%	人	箇所
指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標

指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標（見込み）	92	92	92	92	20	20	20	20	117	117	117	117
実績	71.30	87.20			1	5			173	137		
達成度	95%				25%				117%			
分析	目標まで達していないが、検診後の受診率は向上した。引き続き、未受診者に対して個別勧奨を実施する。				目標まで達していないが増加した。				想定どおりであった。			

ロジックモデル③	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
	市民一人ひとりが自己の健康（歯科口腔）について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる。	市民が成人歯科健康診査を受ける。	成人歯科健康診査事業を実施する。

指標設定③	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
指標説明	歯周病検診の要治療者の受診率 【算出式：要治療者のうち受診した人数/要治療者数×100】	成人歯科健康診査受診者数	成人歯科健康診査実施回数
単位	%	人	回
指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標

指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標（見込	92	92	92	92	2,500	2,500	2,500	2,500	73	81	81	81
実績	71.30	87.20			1,329	2,000			49	81		
達成度	95%				80%				100%			
分析	目標まで達していないが、検診後の受診率は向上した。引き続き、未受診者に対して個別勧奨を実施する。				令和2年度より増加した。				想定どおりであった。			

ロジックモデル④	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
	市民一人ひとりが自己の健康（歯科口腔）について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる。	市民が在宅訪問歯科健康診査を受ける。	在宅訪問歯科健康診査事業を実施する。

指標設定④	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
指標説明	歯周病検診の要治療者の受診率 【算出式：要治療者のうち受診した人数/要治療者数×100】	在宅訪問歯科健康診査受診者数	在宅訪問歯科健康診査実施回数
単位	%	人	回
指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標

指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標（見込	92	92	92	92	2	2	2	2	2	2	2	2
実績	71.30	87.20			1	0			1	0		
達成度	95%				0%				0%			
分析	目標まで達していないが、検診後の受診率は向上した。引き続き、未受診者に対して個別勧奨を実施する。				コロナ禍もあり、訪問健診を控えていた可能性がある。				コロナ禍もあり、訪問健診を控えていた可能性がある。			

ロジックモデル⑤	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
	市民一人ひとりが自己の健康（歯科口腔）について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる。	対象者が障害児歯科健康診査を受ける。	乳幼児健康診査に来所が困難な重症心身障害児、肢体不自由児、医療的ケア児を対象とした障害児歯科健康診査を実施する。

指標設定⑤	アウトカム（活動効果）				アウトプット（活動結果）				インプット（活動）			
指標説明	歯周病検診の要治療者の受診率 【算出式：要治療者のうち受診した人数/要治療者数×100】				障害児歯科健康診査受診者数				障害児歯科健康診査実施回数			
			単位	%			単位	人			単位	回
指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標（見込み）	92	92	92	92	14	14	14	14	7	7	7	7
実績	71.30	87.20			10	4			6	3		
達成度	95%				29%				43%			
分析	目標まで達していないが、検診後の受診率は向上した。引き続き、未受診者に対して個別勧奨を実施する。				令和2年度に受診した市民のうち、集団健診に来所、または、かかりつけ歯科につながるなどにより令和3年度の対象者は減少したが、全ての対象者は受診につながった。				令和2年度に受診した市民のうち、集団健診に来所、または、かかりつけ歯科につながるなどにより、令和3年度の対象者が減少したため、回数を減らした。			

ロジックモデル⑥	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
	市民一人ひとりが自己の健康（歯科口腔）について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる。	対象者が施設歯科健康診査を受ける。	障害者支援施設、障害者入所施設・通所施設等に入所・通所する障害者（児）に対して、施設歯科健康診査を実施する。

指標設定⑥	アウトカム（活動効果）				アウトプット（活動結果）				インプット（活動）			
指標説明	歯周病検診の要治療者の受診率 【算出式：要治療者のうち受診した人数/要治療者数×100】				障害者(児)施設歯科健康診査受診者数				障害者(児)施設歯科健康診査及び歯科健康教育実施回数			
			単位	%			単位	人			単位	回
指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標（見込み）	92	92	92	92	215	215	215	215	32	42	42	42
実績	71.30	87.20			161	211			19	24		
達成度	95%				98%				57%			
分析	目標まで達していないが、検診後の受診率は向上した。引き続き、未受診者に対して個別勧奨を実施する。				令和2年度から増加した。				目標に達していないが、令和2年度から増加した。			

ロジックモデル⑦	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
	市民一人ひとりが自己の健康（歯科口腔）について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる。	障害者の特性や対応など、さまざまな状態に応じた知識及び技術を得ることができる。	歯科医療技術者養成講座を実施する。

指標設定⑦	アウトカム（活動効果）				アウトプット（活動結果）				インプット（活動）			
指標説明	歯周病検診の要治療者の受診率 【算出式：要治療者のうち受診した人数/要治療者数×100】				養成者数				実施回数			
			単位	%			単位	人			単位	回
指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標（見込み）	92	92	92	92	24	40	40	40	4	4	4	4
実績	71.30	87.20			0	0			0	0		
達成度	95%				0%				0%			
分析	目標まで達していないが、検診後の受診率は向上した。引き続き、未受診者に対して個別勧奨を実施する。				新型コロナ感染拡大防止の観点から事業を中止した。				新型コロナ感染拡大防止の観点から事業を中止した。			

3. 人員体制

（人）

	R3
正職員（再任用）	0.20
任期付職員	1.00
会計年度任用職員	0.81
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。

（千円）

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	12,895	8,232	5,921		
		会計年度任用職員（時間外、交通費等含む）	1,919	2,851	2,544		
		特別職非常勤	―	0	0		
		附属機関委員	―	0	0		
		人件費計	14,814	11,083	8,465		
	物件費計		16,387	14,577	17,058	18,444	92%
	歳出計		31,201	25,660	25,523		
歳入	国庫支出金		5,622	5,105	5,154	5,527	
	府支出金		3,765	3,919	3,993	4,500	
	受益者負担（使用料・手数料）		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		9,387	9,024	9,147	10,027	
一般財源			21,814	5,553	7,911	8,417	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染拡大の中ではあったが、個別勧奨はがきの記載内容の工夫等により歯周病検診、枚方市後期高齢歯科健康診査いずれにおいても受診者数は前年度より増加した。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、各健診の受診率向上に向けた取組みをすすめるとともに、来年度の歯科口腔保健計画最終評価及び次期計画策定に向け、今年度から意見聴取等取組を進める。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	糖尿病性腎症重症化予防事業										
測定年度	2021(R3)年度			部	健康福祉部			課	健康づくり・介護予防課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち									
	実行計画名	6-1.保健医療制度の充実									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2017(H29)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称		サンセット		~	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	国民健康保険加入者で糖尿病性腎症の重症化が懸念される人			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	健診結果や受診履歴から糖尿病性腎症の重症化のおそれがある			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿（課題が解決した状態）	糖尿病性腎症の重症化を予防する				
事業概要	特定健康診査結果から抽出された対象者に、医療専門職が主治医と連携のうえ、腎機能の維持・温存を目的とした個別的な保健指導（糖尿病性腎症重症化予防プログラム）を実施するとともに、プログラム修了者に対して事後フォローを行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
ロジックモデル	糖尿病性腎症の重症化が予防される。	糖尿病性腎症の重症化が懸念される人の予防に対する意識が高まる。	糖尿病性腎症重症化予防事業を実施する。

指標設定	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
指標説明	糖尿病性腎症重症化予防プログラム修了者の内、HbA1c値が維持・改善できた者の割合【算出式：(※HbA1c維持者＋改善者)/プログラム修了者数×100】※HbA1c0.3%以上減少を改善、HbA1c0.3%以上増加を悪化とする。	糖尿病性腎症重症化予防プログラム修了後に、セルフモニタリングに関して行動変容した人の割合（無関心から関心に移行した人の割合）	糖尿病性腎症重症化予防プログラムの参加者数
単位	%	%	人
指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標

指標数値	アウトカム R2	R3	R4	R5	アウトプット R2	R3	R4	R5	インプット R2	R3	R4	R5
目標（見込み）	70	70	70	70	100	100	100	100	30	30	30	30
実績	82.30	73.70			100	100			34	25		
達成度	105%				100%				83%			
分析	想定通りであった				想定通りであった				参加者数は想定より少なかったが、前年度までのプログラム修了者への継続支援として、28名に訪問する等、サポートを実施できた。			

3. 人員体制

（人）

	R3
正職員（再任用）	0.35
任期付職員	0.10
会計年度任用職員	0.93
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。

（千円）

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	9,249	15,178	3,185		
		会計年度任用職員（時間外、交通費等含む）	679	3,149	1,762		
		特別職非常勤	―	0	0		
		附属機関委員	―	0	0		
		人件費計	9,928	18,327	4,947		
	物件費計		7,212	5,214	4,263	8,343	51%
	歳出計		17,140	23,541	9,210		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		7,212	2,462	6,108	5,159	
	受益者負担（使用料・手数料）		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		7,212	2,462	6,108	5,159	
一般財源			9,928	2,752	▲ 1,845	3,184	

5. 総括的分析

総括的分析	糖尿病性腎症の重症化予防のためには、継続した取り組みが必要であるため、今後もプログラム修了者に対しての継続サポートを実施するとともに、プログラム参加対象者への利用勧奨を行う等、糖尿病性腎症の重症化予防に努める。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き糖尿病性腎症の重症化予防のために継続したサポートを実施する。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	生活支援体制整備事業								
測定年度	2021(R3)年度		部	健康福祉部			課	健康づくり・介護予防課	
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標	8.安心して適切な医療が受けられるまち							
	実行計画名								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2015(H27)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	介護保険法、地域支援事業実施要綱(国)				
関係補助金名称		サンセット		~	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	65歳以上の元気な高齢者から要支援認定者等			
	サブターゲット	高齢者に関わる近隣・地域住民			
	ターゲットが抱える課題	加齢とともに身体能力が低下し、関係性の貧困など社会的孤立から暮らしの中でのちょっとしたことが解決できない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	事業者だけでなく民生委員等の生活支援サービスを担う事業主体と住民が連携しながら、つながりや助け合いなど多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に図ることで、誰もが役割や生きがいを持ち、暮らし続けたいと実感できる地域となっている。				
事業概要	「元気づくり・地域づくりプロジェクト」として、介護予防・生活支援サービス事業や介護予防事業等の事業内容や地域活動の支援策に対する意見交換や検討を行うため事業者と住民とで構成する市全域を担当エリアとする第1層協議体の運営、小学校区を担当エリアとする第2層協議体の設置及び運営支援を行う。あわせて、生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)を第1層協議体に配置し、第2層協議体への配置を支援し、第3層生活支援コーディネーターの養成と活動支援を行う。 本市独自の生活援助訪問事業のサービス提供者である生活支援員の養成研修を実施する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)
ロジックモデル	「元気づくり・地域づくりプロジェクト」が推進され、誰もが役割や生きがいを持ち、暮らし続けたいと実感できる地域となっている。	第2層協議体の設置が促進する。	第1層協議体を開催する。

指標設定	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
指標説明	第2層協議体で実践するプラン達成率 【算出式:達成したプラン数／プラン数×100】				ひらかた高齢者保健福祉計画21(第7期)において定める目標値である設置校区数(ただし、令和3年度から第8期計画で新たに設定)				ひらかた高齢者保健福祉計画21(第7期)において定める目標値である開催回数(ただし、令和3年度から第8期計画で新たに設定)			
	単位			%	単位			校区	単位			回
指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標(見込み)	100	100	100	100	40	42	43	44	3	3	3	3
実績	100	90			42	42			2	2		
達成度	90%				100%				67%			
分析	コロナ禍の収束を見越して立案されたプランについて、感染状況の急激な変化により一部中止・延期とされたものがあった。				想定通りであった。				コロナ禍で開催回数を減らした。実施についてはオンラインを活用した。			

3. 人員体制

（人）

	R3
正職員（再任用）	1.44
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。

（千円）

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	8,498	11,484	11,314		
		会計年度任用職員（時間外、交通費等含む）	0	0	0		
		特別職非常勤	―	0	0		
		附属機関委員	―	0	0		
		人件費計	8,498	11,484	11,314		
	物件費計		30,530	27,170	26,177	30,679	85%
	歳出計		39,028	38,654	37,491		
歳入	国庫支出金		11,754	1,014	9,058	9,179	
	府支出金		5,877	5,680	4,529	4,589	
	受益者負担（使用料・手数料）		35	0	10	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		7,022	3,132	3,791	3,943	
	歳入計		24,688	9,826	17,388	17,711	
一般財源			14,340	17,344	8,789	12,968	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、第1層協議体は2回の開催となり、第2層協議体では状況に応じて出来る範囲の工夫を実践されていた。生活支援員養成研修については、予定通り6回開催した。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	全小学校区に第2層協議体が設置されるような働きかけを継続し、実際に取り組まれている事例や助け合い活動に発展した取組み等の情報を共有することで、継続した活動となるよう、それぞれの地域に応じた助け合いや支え合いなど地域づくりの支援を図る。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	介護予防・生活支援サービス事業								
測定年度	2021(R3)年度		部	健康福祉部			課	健康づくり・介護予防課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち							
	実行計画名	9-3.介護事業の充実							

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2017(H29)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	介護保険法、介護予防・日常生活支援総合事業ガイドライン(国)、地域支援事業実施要綱(国)				
関係補助金名称		サンセット		~	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	要支援認定を受けた者等			
	サブターゲット	介護事業者等			
	ターゲットが抱える課題	加齢等に伴う心身機能の低下により、日常生活を送る上で不自由や困難な状況がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	要支援者等の能力を最大限いかしつつ、要支援者等の状態等に応じたサービスが選択でき、状態の改善もしくは維持(悪化の防止)できるサービスを効果的かつ効率的に実施することで、誰もが役割や生きがいを持ち、暮らし続けたいと実感できること。				
事業概要	【1.訪問型サービス】 ①予防訪問事業(現行相当サービス)、②生活援助訪問事業(A・基準緩和サービス)、③活動移動支援事業(B・住民主体サービス)、④通院等移動支援事業(D・移動支援サービス) 【2.通所型サービス】 ①予防通所事業(現行相当サービス)、②教室型通所事業(A・基準緩和サービス) 【3.その他の生活支援サービス】 ①リハ職訪問通所指導事業(自立支援サービス)、②リハ職行為評価事業(自立支援サービス)、③栄養士派遣指導事業(自立支援サービス) 【4.介護予防ケアマネジメント】 要支援認定者等の自立支援・重度化防止を目的に上記の事業を整備し、効果を分析・検証しながら効果的かつ効率的な事業実施に努めている。				

2. ロジックモデル及び指標設定

	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)
ロジックモデル	要支援者等が役割や生きがいを持ち、暮らし続けたいと実感する。	要支援者等がサービスを受ける。	サービスを設定し、実施方法(指定・直営・委託・補助)を決定する。

指標設定

	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)
指標説明	ひらかた高齢者保健福祉計画21(第7期)において定めるリハ職訪問通所指導事業利用者の状態改善率(ただし、令和3年度から第8期計画で新たに設定) 【算出式:目標達成者数／事業利用者数×100】	ひらかた高齢者保健福祉計画21(第7期)において定める事業費(ただし、令和3年度から第8期計画で新たに設定)	ひらかた高齢者保健福祉計画21(第7期)において定めるサービスの種類(ただし、令和3年度から第8期計画で新たに設定)
単位	%	千円	種類
指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標

指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標(見込み)	60	90	90	90	1,425,870	1,574,000	1,649,000	1,727,000	9	9	9	9
実績	94	93.50			842,870	872,895			9	9		
達成度	104%				55%				100%			
分析	想定通りであった。				新型コロナウイルス感染症の影響により、サービス利用者数が減少しているが、事業費については介護報酬改定の影響により増加した。				想定通りであった。			

3. 人員体制

（人）

	R3
正職員（再任用）	1.14
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。

（千円）

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	9,139	9,092	8,957		
		会計年度任用職員（時間外、交通費等含む）	1,444	0	0		
		特別職非常勤	―	0	0		
		附属機関委員	―	0	0		
		人件費計	10,583	9,092	8,957		
	物件費計		942,234	838,910	872,895	1,479,678	59%
	歳出計		952,817	848,002	881,852		
歳入	国庫支出金		221,613	350,170	357,682	447,781	
	府支出金		117,779	138,764	141,945	189,259	
	受益者負担（使用料・手数料）		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		471,117	260,490	267,809	333,071	
	歳入計		810,509	749,424	767,436	970,111	
一般財源			142,308	89,486	105,459	509,567	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響でサービス利用量の減少があったものの、本市独自サービスについては感染拡大時には集団ではなく個別訪問にサービスを変更する等によりサービス提供体制を確保した。また、専門職以外の担い手（生活支援員）がサービスを提供している生活援助訪問事業の利用者数は年々増加している。

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取組方針	事業効果の分析・検証から、効果的かつ効率的な事業構築に向け、新たな事業の創設等、適宜、事業の見直しを行っていく。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	高齢者居場所支援事業								
測定年度	2021(R3)年度		部	健康福祉部			課	健康づくり・介護予防課	
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち							
	実行計画名	9-2.高齢者の生きがいづくりと外出支援							

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2005(H17)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	枚方市高齢者居場所づくり補助金交付要綱、枚方市街かどデイハウス事業補助金交付要綱				
関係補助金名称	枚方市高齢者居場所づくり事業補助金、枚方市街かどデイハウス事業補助金	サンセット	2020(R2)年度	~	2022(R4)年度
関係附属機関名称					

事業対象	メインターゲット	65歳以上の高齢者、65歳以上の高齢者を中心としたグループ
	サブターゲット	
	ターゲットが抱える課題	加齢に伴う心身機能の変化や関係性の希薄化が生じている。
	ターゲットが抱える課題	
めざす姿、あるべき姿（課題が解決した状態）	地域の中で自由に集い、交流することができる場所を増やすことで、社会参加や介護予防活動につながり、助け合いや支え合いの活動へ発展することにつながり、誰もが役割や生きがいを持ち、暮らし続けたいと実感できること。	
事業概要	平成29年8月から高齢者居場所づくり事業として、居場所の登録と公開、実施場所の改修費用等の一部についてお達者基金を財源として補助金交付を実施している。なお、平成17年度から平成28年度までは、お達者基金を活用し、「自分できづこう健康ライフ事業」として広報ひらかたで実施事業者を公募し、事業者の企画について、目的や内容を選定部会で審議の上、実施事業者を選定。選定された企画内容のうち講師謝礼の費用を市が負担することで介護予防教室の実施を支援していた。 また、高齢者居場所や街かどデイハウスなど、多様な高齢者の通いの場を支援する事業として実施する。	

2. ロジックモデル及び指標設定

	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
ロジックモデル	高齢者の社会参加や介護予防が促進する。	高齢者居場所の周知により、活動が活発化また継続する。	高齢者の通いの場である高齢者の居場所を把握し、周知する。

指標設定	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
指標説明	通いの場への参加率 【算出式:通いの場への実参加者数／高齢者人口×100】	活動実績を求める高齢者居場所と街かどデイハウス事業の延べ参加者数	活動を把握したうえで、公開の同意を得た場所の数
単位	%	人	箇所
指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標

指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標（見込み）	6	8	8	8	100,000	110,000	110,000	110,000	100	120	120	120
実績	6	5.70			61,996	56,192			116	111		
達成度	71%				51%				93%			
分析	同左				活動の自粛に加え、参加者の外出自粛、活動再開時の利用定員の制限等により参加者数が減少した。				運営側の都合による活動廃止で減少した。			

3. 人員体制

（人）

	R3
正職員（再任用）	1.03
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。

（千円）

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	8,258	8,214	8,093		
		会計年度任用職員（時間外、交通費等含む）	0	0	0		
		特別職非常勤	―	0	0		
		附属機関委員	―	0	0		
		人件費計	8,258	8,214	8,093		
	物件費計		42,862	31,295	32,652	44,000	74%
	歳出計		51,120	39,509	40,745		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担（使用料・手数料）		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		2,442	0	0	0	
	歳入計		2,442	0	0	0	
一般財源			48,678	31,295	32,652	44,000	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、高齢者居場所等では活動自粛や、再開に向けた感染対策の検討など手探りの中での取組みとなり、適宜、郵送等で情報の提供を行うなど適切なサポートに努めた。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	自主的な活動が継続することで活動の拡充や発展につながるため、新しい生活様式を踏まえ、活動が継続できるよう支援していく。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	介護予防普及啓発事業								
測定年度	2021(R3)年度		部	健康福祉部		課	健康づくり・介護予防課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち							
	実行計画名	9-3.介護事業の充実							

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2006(H18)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	介護保険法、地域支援事業実施要綱(国)				
関係補助金名称		サンセット		~	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市の第1号被保険者(65歳以上の高齢者)			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	加齢等に伴う心身機能の変化と日常生活への影響への対応に関する意識が低く、健康状態の悪化に伴い、生きがいや役割を喪失する。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	加齢に伴う心身機能の変化等を理解し、年を重ねても心豊かに、常に役割や目標を持って元気に生活でき、つながりを持つことで、誰もが役割や生きがいを持ち、暮らし続けたいと実感できること。				
事業概要	虚弱な高齢者(フレイル)を把握するため地域に出向いて健康相談を実施し、必要に応じて訪問指導を実施する。 介護予防(フレイル予防)等に関する動機付けを目的とした単発の事業、外出や健康づくりの習慣化を目的とした事業を開催し、介護予防に関する基本的な知識の普及啓発を行う。具体的には各種講座を開催する高齢者健康づくりプロジェクト、地域で気軽に介護予防の意識づくりの場の開催を地域包括支援センター等に委託を行い実施している。また、介護予防に興味・関心がない層への効果的なアプローチ方法として検証を続けている商業施設や駅前の公園等でのイベント(健活フェスタ)を開催する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)
ロジックモデル	介護予防への意識が高まり、役割や生きがいを実感する。	介護予防に関する基本的な知識が普及する。	介護予防に関する啓発事業を実施する。

指標設定

	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)
指標説明	健活フェスタ参加者の健康意識の向上率【算出式:向上した人数／参加者全体数×100】	「健活フェスタ」や身近な場所で開催する介護予防教室等への参加者数	介護予防に興味・関心がない層への効果的なアプローチ方法である「健活フェスタ」の開催回数
単位	%	人	回
指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標

指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標(見込み)	30	60	60	60	25,000	25,000	25,000	25,000	1	1	1	1
実績	85	74			5,273	8,357			1	1		
達成度	123%				33%				100%			
分析	コロナ禍でも集まれる場があったことが健康観の向上につながった。				コロナ禍で1教室あたりの定員数を減らした。また、通年講座は中止したこともあり目標には達していないが昨年度より増加				想定通りであった。			

	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)
ロジックモデル②	介護予防への意識が高まり、役割や生きがいを実感する。	対象者が訪問指導を受ける。	地域に出向いてフレイル(虚弱)な高齢者を把握する。

指標設定②

	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)
指標説明	健活フェスタ参加者の健康意識の向上率【算出式:向上した人数／参加者全体数×100】	訪問指導延べ人数	健康相談実施回数
単位	%	人	回
指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標

指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標(見込み)	30	60	60	60	－	67	67	67	－	72	72	72
実績	85	74			－	82			－	370		
達成度	123%				122%				514%			
分析	コロナ禍でも集まれる場があったことが健康観の向上につながった。				概ね想定通りであった。				様々な機会を捉えて個別相談の場を増やしたことで相談件数が増加した。			

3. 人員体制

（人）

	R3
正職員（再任用）	1.39
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.25
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	4.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。

（千円）

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	17,557	11,085	10,921		
		会計年度任用職員（時間外、交通費等含む）	1,601	642	496		
		特別職非常勤	―	0	0		
		附属機関委員	―	0	38		
		人件費計	19,158	11,727	11,455		
	物件費計		35,859	35,064	24,346	65,179	37%
	歳出計		55,017	46,791	35,801		
歳入	国庫支出金		8,434	14,058	9,979	12,492	
	府支出金		4,482	5,757	3,960	5,280	
	受益者負担（使用料・手数料）		1,834	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		17,930	10,824	7,697	11,070	
	歳入計		32,680	30,639	21,636	28,842	
一般財源			22,337	4,425	2,710	36,337	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から運動を実施できるオンライン教室（ひらかた夢かなえるエクササイズ教室・ご近所運動教室）を継続。会場及びオンライン上で、同空間を共有するハイブリット教室の開催に加え、厚労省のモデル事業としてオンライン教室を体験できるサテライト会場を開設した。

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取組方針	教室や講座への参加者の増加にとどまらず、自主的に社会活動や健康づくりに取り組めるよう地域を基盤にした継続的な介護予防活動ができる支援体制に重点を置き、介護予防活動につながる新たなツールの検討や支援体制の構築等の取組みを推進していく。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	地域介護予防活動支援事業								
測定年度	2021(R3)年度		部	健康福祉部			課	健康づくり・介護予防課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち							
	実行計画名	9-3.介護事業の充実							

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2006(H18)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	介護保険法、地域支援事業実施要綱(国)				
関係補助金名称		サンセット		~	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市の第1号被保険者(65歳以上の高齢者)、第1号被保険者を中心としたグループ			
	サブターゲット	医療・介護関係機関			
	ターゲットが抱える課題	加齢に伴う心身機能の変化や関係性の希薄化による社会的孤立が生じている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	加齢に伴う心身機能の変化等を理解し、年を重ねても心豊かに、常に役割や目標を持って元気に生活でき、自主的な活動を支援することでつながりを持ち、暮らし続けたいと実感できること。				
事業概要	健康講座や介護予防に関するボランティアリーダーを「生き生き健康スポーツレクリエーションリーダー」として、枚方市老人クラブ連合会と協力し養成のための研修を実施していたが、平成29年度から「ひらかた元気くらわんか体操」普及リーダー講習に変更した。また、「ひらかた元気くらわんか体操」を自主的に週1回以上集まって実践するグループを増やし、継続するモチベーションを維持するための支援を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)
ロジックモデル	「ひらかた元気くらわんか体操」の普及を通じて、高齢者のつながりが育まれる。	「ひらかた元気くらわんか体操」実践グループが増加する。	「ひらかた元気くらわんか体操」普及リーダー養成講座を開催する。

指標設定	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)
指標説明	主観的健康感が良い人の割合 【算出式:主観的健康感が良い人数／参加者全体数×100】	ひらかた高齢者保健福祉計画21(第7期)において定める「ひらかた元気くらわんか体操」実践グループ数(ただし、令和3年度から第8期計画で新たに設定)	「ひらかた元気くらわんか体操」を普及するリーダーを養成するための講座の開催回数
単位	%	グループ	回
指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標

指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標(見込み)	30	30	30	30	190	300	310	320	3	3	3	3
実績	85	90			301	292			3	3		
達成度	300%				97%				100%			
分析	コロナ禍でも活動を継続されているため、健康感の意識がより高まったものと考えられる。				コロナ禍で自粛したことから活動の再開が困難になったグループが多かった。				想定通りであった。			

3. 人員体制

（人）

	R3
正職員（再任用）	1.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.04
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。

（千円）

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	4,890	7,975	7,857		
		会計年度任用職員（時間外、交通費等含む）	797	0	143		
		特別職非常勤	―	0	0		
		附属機関委員	―	0	0		
		人件費計	5,687	7,975	8,000		
	物件費計		10,601	10,350	9,816	21,211	46%
	歳出計		16,288	18,325	17,816		
歳入	国庫支出金		2,493	4,183	4,024	5,037	
	府支出金		1,325	1,713	1,597	2,129	
	受益者負担（使用料・手数料）		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		5,301	3,214	3,011	3,745	
	歳入計		9,119	9,110	8,632	10,911	
一般財源			7,169	1,240	1,184	10,300	

5. 総括的分析

総括的分析	コロナ禍で集団での活動が困難となるなか、感染症対策が比較的とりやすいノルディック・ウォーキングの支援を進め、123グループとなるなど活動支援に努めた。指標の達成度については概ね想定通りであった。

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取組方針	第3の介護予防ツール「ひらかた夢かなえるエクササイズ」を用いたグループ活動の支援体制を構築する。また、ノルディック・ウォーキング実践グループ（くらわんかウォーカーズ）とひらかた元気くらわんか体操実践グループの増加にも努める。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	後期高齢者の保健事業（一体的実施分）								
測定年度	2021（R3）年度		部	健康福祉部			課	健康づくり・介護予防課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち							
	実行計画名	介護事業の充実							

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	R3年度（2021年度）	年度	～		年度まで
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律、国民健康保険法、介護保険法				
関係補助金名称		サンセット		~	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	75歳以上の後期高齢者医療制度の被保険者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	適切な医療、介護サービスや、必要な保健指導等の健康支援につながらないため、またフレイル予防や疾病予防等の健康支援が行われないために、健康寿命の延伸が図れず、住み慣れた地域で健やかに自立した生活がおそれがある			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿（課題が解決した状態）	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施を行うことで、住み慣れた地域で健やかに自立した生活が送ることができる。				
事業概要	広域連合との委託契約に基づいて保健師等の医療専門職を配置し、一体的実施等の保健事業を行うために国民健康保険データベースシステム（KDBシステム）を活用し、医療レセプト・健診・介護レセプトのデータ等の分析を行い、一体的実施の事業対象者の抽出、地域の健康課題の把握、事業の企画・調整・分析・評価等を行う。 また、地域の関係機関と連携し、通いの場等への積極的な関与や個別訪問等の支援を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
ロジックモデル		多くの後期高齢者が、適切な医療、介護サービスや、必要な保健指導等の健康支援をポピュレーションアプローチ（ハイリスクアプローチを含む）の機会でつながる。	後期高齢者へ高齢者の特性や地域特性を踏まえた事業を実施する

指標設定	アウトカム（活動効果）				アウトプット（活動結果）				インプット（活動）			
指標説明					アプローチが行えた後期高齢者数（延べ人数）				ポピュレーションアプローチやハイリスクアプローチを実施した圏域数			
			単位				単位	人			単位	圏域
指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標（見込み）						40	500	600		1	13	13
実績						91				1		
達成度					228%				100%			
分析					新たな事業で想定より多くの方の支援ができた。				想定通りであった。			

3. 人員体制

（人）

	R3
正職員（再任用）	1.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。

（千円）

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	―	―	7,857		
		会計年度任用職員（時間外、交通費等含む）	―	―	0		
		特別職非常勤	―	―	0		
		附属機関委員	―	―	0		
		人件費計	―	―	7,857		
	物件費計		―	―	115	500	23%
	歳出計		―	―	7,972		
歳入	国庫支出金		―	―	0	0	
	府支出金		―	―	0	0	
	受益者負担（使用料・手数料）		―	―	0	0	
	市債		―	―	0	0	
	その他		―	―	6,502	0	
	歳入計		―	―	6,502	0	
一般財源			―	―	▲ 6,387	500	

5. 総括的分析

総括的分析	関係機関（枚方市介護支援専門員連絡協議会や民生委員等）の協力を得ることで想定以上のハイリスクアプローチ者の把握につながった。また、集団で行うポピュレーションアプローチはコロナ禍で開催時期の延期を含め実施時期の決定が難しかったため、今後は複数候補日で開催時期の調整など検討する。

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取組方針	市内全域で地域包括支援センターと連携して取り組みを継続することで、通いの場に専門職が関与する機会を増やし、フレイル予防の活動が自然と生活の中に取り入れられる環境の整備に努める。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	健康づくり・介護予防課運営事務								
測定年度	2021(R3)年度		部	健康福祉部			課	健康づくり・介護予防課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4	
総合計画体系	基本目標	9.施策体系外							
	施策目標	99.施策体系外							
	実行計画名								

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	2020(R2)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	~
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	地域健康福祉室　健康増進・介護予防担当に在籍する職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	課の運営を円滑に図る必要がある			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿（課題が解決した状態）	健康増進・介護予防担当所管事務の適正かつ効率的な執行を図る。				
事業概要	課の運営業務				

2. ロジックモデル及び指標設定

	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
ロジックモデル			

指標設定	アウトカム（活動効果）				アウトプット（活動結果）				インプット（活動）			
指標説明			単位				単位				単位	
指標種類												
指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標（見込み）												
実績												
達成度												
分析												

3. 人員体制

（人）

	R3
正職員（再任用）	1.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。

（千円）

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	ー	7,975	7,857		
		会計年度任用職員（時間外、交通費等含む）	ー	0	0		
		特別職非常勤	ー	0	0		
		附属機関委員	ー	0	0		
		人件費計	ー	7,975	7,857		
	物件費計		ー	0	0	0	ー
	歳出計		ー	7,975	7,857		
歳入	国庫支出金		ー	0	0	0	
	府支出金		ー	0	0	0	
	受益者負担（使用料・手数料）		ー	0	0	0	
	市債		ー	0	0	0	
	その他		ー	0	0	0	
	歳入計		ー	0	0	0	
一般財源			ー	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	課の文書・人事・財務その他庶務事務の総括、課の予算編成及び執行管理を適切に実施した。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	今後も適正かつ効率的な執行に努める。